

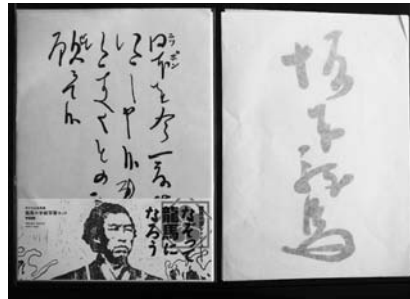
7月・8月の催し物

紙の博物館 ☎ 893-0886

- 友草正親の和紙とその作品展
7月3日(土)～7月25日(日)
紙の博物館で紙を漉き、その魅力を伝えてきた友草正親氏の和紙とその和紙から生まれた作品を展示します。
- 第25回 紙とあそぼう作品展
7月18日(日)～8月22日(日)
高知県内の園児・児童・生徒から寄せられた全作品を展示します。紙の特性を活かして制作された、魅力あふれる作品の数々をご覧ください。
- 和紙でつづる「美しい土佐の自然」
7月22日(木)～8月4日(水)
南国市の園児・児童・生徒を中心とするグループが、和紙を使って創作した土佐の植物・動物や風景など約30点の作品を展示します。
- 「源太の手紙、龍馬の手紙」展
7月31日(土)～8月29日(日)
紙業界の恩人吉井源太と坂本龍馬は、同時代を生き、ともに世界に目を向け活躍しました。二人の残した手紙から、人物像に迫りその偉業を紹介します。
～記念講演会～
日 時 8月8日(日)13:30～
講 師 村上 弥生 氏
(吉井源太翁研究者)

- 土佐手すき和紙
龍馬の手紙写筆セット
「なぞって龍馬になろう」
見本1枚・半紙10枚入 ¥500

絶 賛 販 売 中



高知県立坂本龍馬記念館の協力を得て、龍馬の文字を印刷したお手本の上に、土佐手すき和紙の半紙を重ねてなぞれる「写筆セット」を商品化しました。
お手本には、龍馬が1861～67年の間に、姉の乙女や木戸孝允にあてた手紙の中から、「海」「坂本龍馬」「日本を今一度せんたくいたし申候」など18種類の言葉を採用しています。お手本1種類と、土佐和紙の半紙10枚セットで500円、いの町紙の博物館と坂本龍馬記念館でのみ販売しています。紙の博物館では、ご希望の方にその場で写筆していただくことができるよう、書道セットを準備して、皆様のご来館をお待ちしています。

販売コーナーのみのご利用の場合、入館料は不要です。

ギャラリー・コパ ☎ 893-1200

- ◇夏の和布展
6月29日(火)～7月7日(水)
土佐市、浪漫堂の展示会です。人気の和布素材で手作りした着心地の良い生活着を中心に、帽子やバッグ、アクセサリなど一点一点手作りしました。その他、手作り材料など合わせて約300点を展示販売します。
- ◇夏の更紗服展
—涼しい夏を過ごす—
7月9日(金)～7月13日(火)
高知市、ぎやらりー更紗の展示会です。更紗布やつむぎ、綿ローンなどを使ったオリジナルの洋服、約300点を展示販売します。今年の夏は、更紗でおしゃれに装ってみませんか？
- ◇第3回 全国土佐和紙はがき絵展巡回展
7月24日(土)～8月15日(日)
土佐和紙のすばらしさを知ってもらおうと、紙の博物館で開催している「全国土佐和紙はがき絵展」の巡回展です。入賞作と、その他数十点の作品を展示します。



紙の博物館ボランティア募集

紙の博物館は、開館25年を迎え、今までに151万人の皆さんにご来館いただきました。
新たな取組として、地域の皆さんに愛され、お客様に喜んでいただける紙の博物館を目指して活動し、活動を通じていの町に誇りをもっといただけるボランティアを募集しています。
紙の博物館の展示物や、紙の歴史などについての研修会を重ねてから活動を開始します。
ボランティアに関心があり、ご協力いただける18歳以上の方は、紙の博物館までご連絡ください。応募者多数の場合は、調整させていただく場合がありますので、ご了承ください。

問い合わせ 紙の博物館 ☎ 893-0886 FAX 893-0887